

第10次野田村交通安全計画 概要版

1 計画の位置付け

交通安全対策基本法に基づき、本村の陸上交通の安全を確保するための施策を定めたもの。

2 計画の期間

令和3年度から令和7年度まで

3 計画の目標

交通事故そのものの減少を一層積極的に取り組み、悲惨な死亡事故を無くすため「死亡事故ゼロ」を目標とします。

4 講じようとする施策

【主な施策】

【事故防止に向けた対策】

1 道路交通環境の整備

- ・交通安全施設等の整備
- ・道路使用の適正化



- ①道路構造、交通状況等により、交通安全の確保に必要な道路標識、道路標示、区画線等の整備を促進する。
- ②不法占用物件の指導取締り強化を図り、啓発活動についても積極的に行う。

2 交通安全思想の普及徹底

- ・交通安全教育の振興
- ・広報活動の充実
- ・交通安全に関する民間団体の育成指導



- ①学校教育全体通じて、歩行者としての正しいルール、横断等の安全のみならず自転車の安全な乗り方について重点的に指導する。
- ②村民の関心を高めるため、広報媒体を利用して、家庭、職場、学校等それぞれの場に応じた効果的な広報活動を行う。
- ③交通安全のためのボランティア活動の重要性に鑑み、その育成を図るための指導に努める。

3 安全運転の確保

- ・運転者等教育の充実
- ・道路交通に関する情報の充実
- ・危険物の輸送に関する安全運転の充実



- ①関係機関や民間団体が行う、各種講習や実技指導による教育の充実を図る。
- ②道路交通情報を敏速に収集し、必要な情報を、広報媒体を活用して提供する。
- ③大規模な災害を未然に防止するため、輸送上の安全運転確保の万全と沿道住民への周知徹底を図る。

4 道路交通秩序の維持

- ・交通の指導体制の強化
- ・交通指導員による指導強化
- ・飲酒運転防止の強化



- ①積雪又は凍結している道路でのスリップ事故防止のため指導強化とともに安全な道路の確保に努める。
- ②事故内容の分析を検討し、主に通勤、通学路の安全を中心に路上活動を積極的に行う。
- ③飲酒運転撲滅のため、関係機関等と連携を図りながら広報、啓発活動を強力に展開していく。